

としては、本当に大きな意味があったかと思ひます。自転車はみなさんも普段目にしてゐる通り、乗物として便利であり非常に身近な道具の一つです。しかし自転車競技という種目として見ると、この身近な物が急に違う意味を持つてきてしまふ。ここに実際にオリンピックで使ひました自転車を持つてまいりましたので、手にしてご覧にいられたと思ひますので、ちよつと失礼します。……これがロードレーサーという自転車ですが、国内の予選会でも使ひ、バルセロナへも持つて行きました。えー、自転車競技の種目は、ロードレースと競技場の中で行われる種目の二つに分けられます。みなさんご存知の競輪に代表されるトラック種目では、スプリント種目というのが、プロの世界では中野浩一選手が十連覇した種目であり、四年前ソウルオリンピックの女子代表の一つの枠をめぐつて、私が橋本聖子さんと争つた種目です。そのほかタイムトライアルなどがあります。これに対してロードレースは、路上の長い距離、女子ですと世界で一番長い場合は約百キロに近い、この度のオリンピックでは八一キロという距離でしたが、これを走破するわけです。男子の場合はなんと驚くことに二百キロに近い距離で行われる種目です。私は今度のオリンピックで、このロードレースに参加しました。

この自転車が普通の実用的な自転車とどこが違うかと申しますと、自転車は足が動力源でペダルを回すことで推進するわけですが、普通の自転車の場合は踏むことによつてのみ動力を得ます。これに対して競技自転車は、ペダルを踏むときばかりでなく、引き上げるときにも動力が得られるようになってゐるのです。つまりペダルをできるだけよく回すということが重要になります。したがつて、ストライプと言ひますが、この紐でペダルに足を固定します。ストライプで縛り付けることによつて、もちろん自転車と身体が一緒になつてしまつて、非常に危ないことではあるのですが、軋ばない限り非常に速く走れるのです。この点が実用自転車とは大きな違いと言へます。また、競技場のトラックレーサーという自転車は、よくみなさんもブレーキもなにもないだろうとおつしやるのですが、その通りでして、それは走るということに頑固にできてゐるといふのでしようか、固定式になつてゐて、バックもできるのです。ところが、ロードレーサーは実用車と似てゐるところがあつて、このように空回りもできます。ですからブレーキもついておられますし、こちらは走るのに使うということであれば、普段の生活の実用的な道具として活用することもできるわけです。ただし、お買い物に行つて大根などを乗せて帰るといふには不向きにできております。昼日中に走る、あるいは健康的な目的のためにサイクリングをするということであれば、びつたりの自転車なのです。

レースで速く走るためにいろいろな工夫がなされておられます。その一つとして、まず非常に軽くできてゐます。部品の開発に各国がしのぎを削つてゐて、ごく最近では、たとえばデスクホイールと言ひまして、円盤状になつた車輪などを使うなどの工夫がされてゐます。私の自転車はたまたま三十万円ぐらいしますけれども、もちろん普通の自転車屋さんでは五万円代ぐらゐからのがあるそうだし、コーチでもある私の彼が自転車屋さんをやつておりますので、用の方はよろしければどうぞ。と、これは少し余談になりましたが、最近では、少しづつこういう自転車の存在もみなさんに知られてきてゐるようです。

ちなみに私の自転車はメイドイン世田谷、純国産品で約三十万円。フレームの部分が私用に私の手足の長さに合わせて、世田谷にあるわが社に設計させたオーダーメイドで、素材は鉄のパイプ。これを非常に薄く伸ばして使用しておりますので、とても軽量です。また、軽量の中にも十分な強度が工夫されております。

だんだん時間も押し詰まつてきたようです。ちよつとここにあるローラー台という物に乗つてみたいと思つたのです。ここにある機械は三本ローラーと言ひまして、よくトレーニングなどに使われる器具です。ウォーミングアップや準備体操の際、外を走り回らなくても、この上で自転車をこぐことができます。ちよつとバランスをとるのが難しいところもありますが、この上で自転車をこいでみたいと思ひます。それで最後にしたいと思ひます。これは独楽（こま）の原理と同じで、こがないと倒れてしまふので、最初の方は気をつけて乗らないと、よく落つちて怪我をしますから注意してください。……雨の日のトレーニングとか、時間を区切つた走行練習とか、慣れればいろいろな使ひ方もできますが、最初はまず落ちないように十分気をつけなければなりません。……というわけで、いろいろチヨロチヨロとやりましたけれども、慣れないことで大変申し訳ありませんでしたが、また会場でも、聞いてみたいことなどありましたら、どうぞ遠慮なくお尋ねください。今日はどうも失礼しました。

平成五年度東京同窓会総会のお知らせ十月一日(金)

午後五時開始予定 於・茗溪会館

開始時間を気にはせず気軽にお運び下さい



を破る先制タイムリーで大塚をホームに迎え入れる。

能代応援団、早くもこの試合頂きとばかりの驚喜乱舞。

1回裏(佐賀東) 2番平田、四球で出た中尾を型どおりバントで二塁へ。3番野中を2-10と追い込んだ時、中尾三盗。いさいかまわず投げ込む成田の3球目を野中スクイズ。たちまち同点に追いつかれる。

アリア、あそこで1球ウエストしていればと、ノーヒットで与えた失点に、どこからともなくため息がもれる。

3回表 柳谷セカンドエラーで出塁。しかし、盗塁失敗。大塚三塁強襲、2本目の二塁打。さらに加藤三遊間突破のヒットで続くが、本塁を突いた大塚本塁前タッチアウトで無得点。

あの盗塁失敗がなかったら、と野球部父母会会長夫妻(柳谷選手のご両親)もチヨッピリ肩を落とす。しかし、押し気味に進める味方の試合展開に応援団はますます意気盛んだ。

3回裏 中尾の大飛球をセンター池端ダイビングキャッチ。平田に初ヒット。初球盗塁を許すが、続く野中のヒット性の当たりを、セカンド諏訪、またまたダイビングキャッチ、一塁送球間一髪アウトでチェンジ。

内外野の相次ぐファインプレーに、ますます応援の熱が入る。

敵の攪乱戦法の術中にはまる

5回裏 この回の先頭打者小笠原セカンド前の内野安打すかさず二盗、キャッチャー加藤の送球が諏訪の頭上を大きく越して、小笠原三塁進塁。まだノーアウトだ。何とか抑えての願いも空しく、角のセンターフライで1点の先行を許す。1点ぐらいドンマイ、ドンマイ。だが、佐賀東の揺さぶり戦法が続く。バントヒットで出た納富を中尾バントで二塁に送る。平田のゴロをファースト菊地エラー。2死ながら走者一・三塁のピンチ。なんとこの時、ダブルスチール。加藤の二塁送球の間に、三塁走者生還。成田投手はまだヒットらしいヒットは、1本しか与えていないのに、点差を2点と広げられる。

バントと盗塁の揺さぶりに、やや浮き足立った感じの味方ナインにハッパをかけるOB応援団。最後の勝利を信じる高校生応援団は、必死の応援歌で声援する。

7回表 1死後、菊地ライト線ヒット、好走よく二塁打とする。こちらよりもうまい野球するとは言っても、やはり高校生。佐賀東だつて平常心ではないのだ。サア、チャンスだ。向こう

さい先よい 先制も束の間

十四年ぶりに甲子園の土を踏んだ能代高ナインは、オリックス・ブルーウェーブばりのユニフォームに身を包み、八月十四日午前十一時、対佐賀東高戦のプレーボールを迎えた。甲子園上空は三日ぶりの晴天。灼け焦がすばかりの炎暑が、三塁側に陣取った母校応援席の熱気に油を注ぐ。なにしろ今年の能代高校はスポーツの当り年。自転車鈴木の鈴木裕美子選手のバルセロナ・オリンピック出場に続けとばかり、野球部も硬・軟取り揃えての全国大会出場である。

1回表(能代) 池端・柳谷凡退の後、主砲大塚レフト線を痛烈に抜く二塁打。佐賀東角投手の暴投で三塁進塁。加藤四球の後、成田三遊間